

県民生活を守る今年度の施策

自民党県議会議員 土井りゆうすけ



土井りゆうすけ

生年月日：1959年5月7日(51歳)
略歴：衆議院議員 小泉純一郎秘書
平成11年より神奈川県議会議員(3期)
現職：自民党県議団々長
防災警察常任委員会委員
事務所 ☎911-5200

神奈川県議会第1回定例会が今月14日に開会しました。様々な議案が提出され、平成23年度の取り組みが示されたところです。

県民の皆さんから注目を集める新たな施策が「神奈川方式」といわれる子育て支援施策です。県内の各市

町村の実情に応じた施策を展開するため、県が交付金を創設しました。県は▼私立幼稚園の施設整備(遊具の設置や耐震改修など)▼県立特別支援学校、県立高等学校のエアコン整備▼私立高等学校等の学費補助の拡充を図ります。各市町村

には独自の子育て支援事業を展開してもらいます。

自民党県議団の議員提案として「県歯及び口腔の健康づくり推進条例案」を提出しました。80歳で20本以上の歯を保つために、乳幼児から高齢期まで適切な歯科保健医療サービスが受けられる環境を整備します。

また、地元多摩区内の県の事業として、引き続き三沢川の整備に取り組みます。昨年4月に菅親水広場が完成しましたが、さらにこうした水辺に親しむ空間を広げるため、第二次親水

計画を策定します。地元の皆さんからは壁面緑化やビオトープの整備が求められています。こうした声を反映してかつての水辺環境を取り戻していきます。

ゲリラ豪雨などの洪水災害から皆さんを守るため、五反田川放水路の整備が進められています。多摩区を横断し、高低差の著しい五反田川は二ヶ領本川との合流部で急激な水位上昇の危険性があります。川崎市の事業ですが、県としましても治水対策の一環で事業費の補助として約3・4億円を計上しており、早期整備を推進しています。

県民の皆さんの生活を守るため、効果的で効率的な県政に取り組んでいきます。